

公益財団法人 福井県生活衛生営業指導センター 役員名簿

令和6年6月4日現在

役職	氏名	業種	備考
理事長	光森 幸夫	中華料理	
副理事長	土田 耕一	旅館ホテル	
副理事長	寶山 榮一	麺類業	
副理事長	山田 剛士	美容業	
理事	奥村 数馬	理容	
理事	有賀 秀雄	クリーニング業	
理事	岩崎 博司	公衆浴場業	
理事	伊井 弥州雄	興行	
理事	木村 裕昌	料理業	
理事	松谷 亨	寿司商	
理事	西野 昌美	喫茶飲食業	
理事	中村 勉	飲食業	
理事	後藤 和憲	社交飲食業	
理事	森谷 淳一	食肉	
理事	池上 栄志		福井県健康福祉部長
専務理事	南部 晴彦		常勤
監事	北川 昌信	クリーニング業	
監事	渡邊 良一	料理業	

公益財団法人 福井県生活衛生営業指導センター 評議員名簿

令和6年6月4日現在

役職	氏名	業種	備考
評議員	小嶋 美寛	理容	
〃	水島 律子	美容業	
〃	佐野 直美	クリーニング業	
〃	長谷川 多聞	公衆浴場業	
〃	藤原 喜巳男	旅館ホテル	
〃	藤本 正幸	料理業	
〃	鈴木 孝雄	寿司商	
〃	小林 壽一	麺類業	
〃	瀧本 孝男	喫茶飲食業	
〃	奥本 兼義	飲食業	
〃	三宅 恵子	社交飲食業	
〃	川口 孝誠	食肉	
〃	伊藤 順仁	中華料理	
〃	佐々木 富代		福井県健康福祉部健康医療局医薬食品・衛生課長

I 令和5年度事業報告書

県内の生活衛生営業の経営の健全化と振興を通じて、その衛生水準の維持向上を図り、あわせて利用者や消費者の利益の擁護を図るために、以下の事業を実施した。

1 理事会の開催状況

	開催年月日	議 事 等
第1回	令和5年5月 9日	・令和4年度事業報告および収支決算(案)について ・第1回評議員会(定時)の開催について ・理事長等の職務執行状況等の報告について
第2回	令和5年6月 6日	・理事長、副理事長の選定について
第3回	令和6年2月 5日	・第2回評議員会(臨時)の開催について ・理事長等の職務執行状況等の報告について
第4回	令和6年3月21日	・令和6年度事業計画および収支予算(案)について
第5回	令和6年3月31日	・第3回評議員会(臨時)の開催について(書面)

2 評議員会の開催状況

	開催年月日	議 事 等
第1回	令和5年6月 6日	・令和4年度事業報告および収支決算(案)について ・理事の選任について ・評議員の選任について
第2回	令和6年3月21日	・令和6年度事業計画および収支予算(案)について
第3回	令和6年3月31日	・理事の選任について(書面)

3 生活衛生営業対策事業

(1) 相談指導事業

1) 相談室運営事業

(予算：1,607,604 円・決算：1,572,700 円)

ア 相談室構成員

経営指導員および事務職員（総数4名）

経営特別相談員（総数39名）

イ 窓口相談の実施状況（電話等） 指導延件数 302件

2) 地区生活衛生営業相談指導事業（なんでも相談会）(予算：95,890 円・決算：79,539 円)

地区相談室会場	開催年月日	派遣人員	派遣者
武生商工会館	令和5年 9月12日	4名	税理士 中小企業診断士 日本政策金融公庫職員 経営指導員
福井県職員会館	令和5年10月 3日	4名	
計2回		8名	

3) 経営指導員指導事業

(予算：98,000 円・決算：138,991 円)

経営指導員3名、指導延日数33日、指導延件数33件

4) 生活衛生関係営業経営改善資金融資等指導事業

(予算：726,464 円・決算：572,374 円)

ア 融資相談事業

経営特別相談員39名、融資指導件数39件、融資指導延日数44日

イ 生活衛生営業特別指導事業（経営特別相談員巡回指導）

経営特別相談員39名、巡回指導件数306件、巡回指導延日数152日

5) 経営特別相談員研修事業（※事業費は全国センター負担）

開催日 令和5年11月30日（福井県職員会館）

研修内容 「事業承継」

「生活衛生業を取り巻く最近の話題」

「衛経推薦事務」

受講者数 20名

(2) 情報化整備事業

(予算：848,826 円・決算：856,778 円)

1) 全国指導センター等とのネットワークシステムの運用、ホームページの管理

2) 広報誌「ふくい生衛だより」の発行

令和6年1月、2300部を発行し、各組合員・関係機関等へ配布

(3) 後継者育成支援事業

(予算：349,732 円・決算：269,306 円)

1) 生活衛生営業後継者育成支援協議会の開催

ア 第1回

開催日 令和5年6月16日（福井県職員会館）

内容 令和5年度後継者育成支援事業実施計画

出席者 委員12名

イ 第2回

開催日 令和6年1月26日（福井県職員会館）
 内 容 令和5年度後継者育成支援事業実施報告
 令和6年度後継者育成支援事業案
 出席者 委員10名

2) インターンシップモデル事業

ア 高校生インターンシップ実習

高校名	実習受入先	組合名	実習日	人数
福井農林	福井パレスホテル	旅館ホテル	6月12日 ～ 6月16日	女2
	つるきそば佐佳枝支店	麺類業		女2
	福そば	麺類業		男1、女1
	ピリケンつくも橋本店	麺類業		男1
福井商業	ヘアースalonアスワ	理容	6月20日 ～ 6月22日	女2
	メンズ&レディースひまわり	理容		女2
	COZY*COZY	美容業		女2
	ベラミ美容室 アルプラザ店	美容業		男1、女1
	ベラミ美容室 メルピーチ店	美容業		男1、女1
	福井パレスホテル	旅館ホテル		男1、女1
	サバエシティーホテル	旅館ホテル		女2
	たからや	麺類業		女2
	つるきそば佐佳枝店	麺類業		男2
	西村屋本店	麺類業		男1
	富士屋会館(道の駅「西山公園」)	飲食業		男2
	御園飯店	中華料理		男2
計	14店舗	6組合		男2、女10

4 生活衛生営業振興事業

(予算：3,000,000円・決算：3,000,000円)

次の事業を行った各組合へ助成した。

- a 衛生感染対策・技術向上事業（4組合）
- b 需要の拡大・サービス向上事業（13組合）
- c 組合組織基盤強化事業（4組合）

5 標準営業約款登録事業（Sマーク）

（予算：49,000 円・決算：33,920 円）

業種	新規	更新
理 容	0 件	1 件
美 容	0 件	9 件
クリーニング	0 件	0 件
めん類	0 件	0 件
飲 食	0 件	0 件
合 計	0 件	1 0 件

6 クリーニング師等研修事業

（予算：140,000 円・決算：165,580 円）

（1）クリーニング師研修

- 第1型 開催日 令和5年11月26日（福井県自治会館）
 受講者数 18名
 第2型 研修期間 令和5年10月2日～令和5年11月30日
 令和5年12月1日～令和6年 1月31日
 受講者数 21名

（2）クリーニング業務従事者講習

- 第2型 講習期間 令和5年10月2日～令和5年11月30日
 令和5年12月1日～令和6年 1月31日
 受講者数 1名

7 受託事業等

（1）衛生水準の確保・向上事業（※事業費は全国センター負担）

各生衛組合、福井県生活衛生同業組合連合会、全国指導センター、全国生活衛生同業組合中央会、厚生労働省や県など関係機関等と連携して、11月の「生活衛生同業組合活動推進月間」を中心に、新規開業者の生衛組合加入促進、組合活動の広報等を展開した。

（2）生衛業経営状況調査

（予算：513,000 円・決算：497,596 円）

理容など15業種・60施設に対し、4回調査を実施した。

（3）景気動向等アンケート調査

（予算：379,000 円・決算：408,700 円）

理容など15業種・70施設に対し、4回調査を実施した。

（4）生衛業デジタル化推進・支援体制開発事業

（予算：513,000 円・決算：502,550 円）

- 地域デジタル相談員の資質向上理論研修会 3名参加
 生衛業者に対する地域講習会・個別相談会の開催 26名参加
 講演「集客につながるデジタル活用術」
 講師 吉田笑店 Instagram 集客コンサルタント 代表 吉田壮志 氏
 実店舗研修
 研修テーマ 人事評価制度のデジタル化
 研修店舗 蕎麦やすたけ
 研修実績 店舗訪問3回、面談2回

8 感染拡大への対応

感染症の拡大に対し、県や全国指導センター等と緊密な連携のもと、可能な限りの対応に努めた。

I 令和6年度事業計画書

県内の生活衛生営業の経営の健全化と振興を通じて、その衛生水準の維持向上を図り、あわせて利用者や消費者の利益の擁護を図るために、以下の事業を実施する。

1 生活衛生営業対策事業

(1) 相談指導事業

① 相談室運営事業

ア 福井県生活衛生営業指導センター（以下「指導センター」）窓口において、経営指導員が常時、生活衛生関係営業者（以下「生衛業者」）からの経営・衛生・融資・税務等の相談に応じ、適切な指導を行う。日本政策金融公庫の一般貸付については、推薦書を発行する。

イ 利用者や消費者の苦情に対して、関係機関等と連携の上、適切に対応する。

② 地区生活衛生営業相談指導事業

地域の実情に応じた相談、指導を行うため、税理士・中小企業診断士・日本政策金融公庫等の専門家による「なんでも相談会」を、県内2か所において開催する。

開催時期	10～11月
開催地区	2地域で各1回開催
開催会場	両地域の商工会議所等

③ 経営指導員指導事業

経営指導員が、県内の生衛業者の施設等を巡回し、経営や衛生等の問題について相談に応じ、必要に応じて関係機関との連携の上、適切な助言指導を行う。

④ 生活衛生関係営業改善資金融資等指導事業

ア 融資相談事業

生活衛生関係営業者に対し、日本政策金融公庫の生活衛生関係営業経営改善資金等の融資斡旋を中心とした経営相談を行う。

イ 生活衛生営業特別指導事業

(ア) 経営特別相談員巡回指導

各業種に配置された経営特別相談員が、当該業種の組合員の施設等を巡回指導して、専門的な経営指導を行う。

(イ) 特別指導活動連絡会議研修会事業

経営特別相談員の資質向上を図るため、連絡会議や研修会を実施する。

(ウ) 経営特別相談員指導事業

経営特別相談員に対し、全国指導センターや日本政策金融公庫等からの資料や情報を提供する。

(2) 情報化整備事業

- ① 全国指導センターおよび各都道府県指導センターとの間で情報を共有し、有効にこれを活用するネットワークシステムを運用する。
- ② インターネットを活用し、生衛業に関する情報収集を行う。
- ③ ホームページを管理し、指導センターの事業等の情報を広く一般に提供する。
- ④ 広報誌「ふくい生衛だより」を年1回、2500部程度発行し、生衛組合の活動状況、指導センターの事業、関係機関からのお知らせ等を掲載する。

(3) 後継育成支援事業

- ① 生衛業者の後継者育成に関する課題に対応するため、生衛業代表者、行政関係者、学識経験者等で構成する協議会を開催して、後継者育成支援事業の実施計画を策定するとともに、事業実施後の評価を行う。
- ② 事業内容
 - ア 生活衛生営業後継者育成支援協議会の開催（事業実施計画の策定）
 - イ インターンシップ事業の実施
 - 高校生インターンシップ実習（実地体験型）
 - 高校生、専門学校生等を対象としたイベント型事業
 - 小中学生等を対象とした出前教室
 - ウ 生活衛生営業後継者育成支援協議会の開催（事業成果の評価等）
 - エ 実施報告書を作成し、関係機関へ配布

2 生活衛生営業振興事業

各生衛組合が実施する「衛生感染対策・技術向上事業」「需要の拡大・サービス向上事業」に対して助成を行うとともに、新規加入者数に応じた「組合加入支援金」を交付する。

3 標準営業約款登録事業

理容、美容業、クリーニング業（取次所を含む。）、飲食業および麺類飲食業の標準営業約款登録を推進するため、新規および再登録手続きを進めるとともに、未登録者等に対して加入を促すため広報等を行う。

4 クリーニング師等研修事業

クリーニング業法において、クリーニング師およびクリーニング業務従事者は、資質の向上を図るため、3年に1回（営業開始後初回は1年以内）、研修や講習を受けることが義務付けられていることから、県・保健所・全国指導センター等と連携の上、クリーニング師研修およびクリーニング業務従事者講習を実施する。

5 受託事業等

(1) 衛生水準の確保・向上事業

各生衛組合、福井県生活衛生同業組合連合会、全国指導センター、全国生活衛生同業組合中央会、厚生労働省や県など関係機関等と連携して、11月の「生活衛生同業組合活動推進月間」を中心に、新規開業者の生衛組合加入促進、組合活動の広報等を展開する。

(2) 生衛業経営状況調査

15業種から約60施設を選択して、四半期ごとに月次で生衛業の経営状況を定期的・定点的に調査・把握するため、アンケート調査を実施する。

なお、調査結果は、個々の営業者の経営判断および生衛業に対する今後の施策の判断材料として活用し、生活衛生関係営業の振興および経営安定化に資する。

(3) 景気動向等アンケート調査

15業種から約70施設を選択して、四半期ごとに生衛業の景気動向および設備投資動向等ならびに景況感や地域実情を把握するため、アンケート調査を実施する。

なお、調査結果は、個々の営業者の経営判断および生衛業に対する今後の施策の判断材料として活用し、生活衛生関係営業の振興および経営安定化に資する。

(4) 福井県生活衛生同業組合連合会事務受託事業

各生衛組合の連携強化、円滑な運営、組合員の利便を図るため、福井県生活衛生同業組合連合会の事務を受託する。

6 理事会、評議員会等の開催

公益財団法人としての指導センターの適正な運営を図り、重要事項を審議・決定するため、理事会や評議員会等を開催する。

7 感染症への対応

感染症の状況に応じて、引き続き、県や全国指導センター等との緊密な連携のもと、必要な対応に努める。